

光風水土 ひかりかぜみずつち

平成30年5月に氷見で「養心の会金沢」は閉会し、早や2年。その4月から町内会長の役目を受け、5月には母が緊急入院、慌ただしい日々を思い返します。その母も昨年1月に93歳を目前にしながら浄土に旅立ちました。町内会、地域振興会の業務等に感けて「光風水土」はお休みしていました。今回、はがき通信の形で再開していきます。

家族の絆を深める時

コロナウイルスが蔓延し、閉塞した社会情勢になっていきます。子どもたちは学校が休校となり、外出自粛も続き、宿題等の家庭学習になっていきます。

個人別・能力別の教育産業に勤めていた経験から思うのは、子どももの自習力を高めるチャンスではないかと。現代では学校で教わるのが当たり前ですが、江戸から明治にかけての近代の

教育制度が確立される前の塾や寺子屋等では先生はいるが、講義等は少なく自習が当たり前でした。その時に比べれば学ぶ素材とテキストは豊富にあり、選択に困るくらい。小中学生ならば、教科書で以前の課題を補ったり、できれば予習でどんな先のことを学んでいけばいいのです。学び方の基本は声を出して読む、書き写す、問題を解くといったことです。手と口と目と耳をフルに活用することが大事。何より大切な事は両親等が関心(ほめる等)を示すこと。ここが肝心。タブレット等IT関連の学習法も活用しながらも、多読、多写で自分流の 学び方を習得し自学習力をつけることで高校・大学、社会で「生きる力」に。そして、もう一つ大事なのが読書。家族で読書タイムを持たれてはいかがですか。時にカードゲームで楽しむものも入れながら、絆を深めましょう。